

人口と世帯

54.4.1現在
(前月比)

男 5,762人 (-32)

女 6,112人 (-23)

計11,874人 (-55)

世帯数2,762(+1)

広報くにみ

発行/国見町役場
編集/企画課

福島県伊達郡国見町
大字藤田字一丁田二
2ノ1 ☎969-17
電話藤田(024585)21110代

昭和54年4月15日

No. 70



①

藤田字南45の6

後藤 秀明さん(43)

(後藤写真館)

長女陽子さん(20)

後藤さんは写真業を始めて二十年。スタジオ写真からアルバムづくり、一般現像、引き伸ばしまですべてをこなす総合写真館を経営している。

陽子さんは一人姉妹の長女。今年、東京写真大学を卒業し、お父さんの助手としてプロへの第一歩を歩み始めた。

ふだんはやさしいお父さんがこ写真の話になると厳しい先生に早変わり。「どんな悪環境でも自信をもって撮れる写真家になってほしい」。陽子さんもお父さんの信頼にこたえるべく、技術の研鑽(けんさん)に励んでいる。



'79

4月

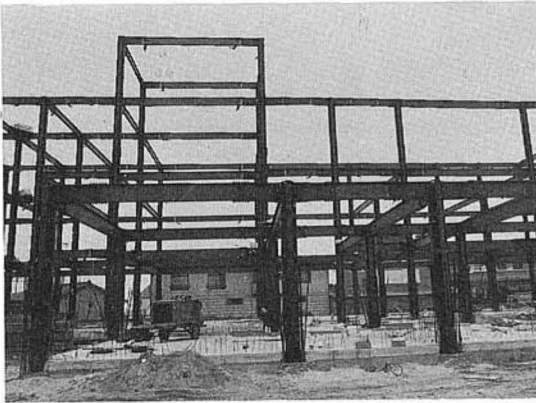
おまな内容

- 昭和54年度の予算..... 2~5
- あの人この人..... 5~6
(菊地太三さん)
- 公民館だより..... 6~7
- 中沢さんが作文で県一位..... 8~9
- 小学校入学式..... 10
- 花嫁対策協議会..... 11
- おしらせ..... 12

節約型財政

54年度の 一般会計予算

15億6千万円



54年度最重点事業 役場庁舎建設

昭和五十四年度の国見町一般会計予算および特別会計予算が、三月の町議会定例会で可決されました。

今年も、国の景気回復対策にもかかわらず景気は沈滞し、町税の伸びは期待できないとともに、財源の大部分を占める地方交付税もわずかな増加しか見込めません。

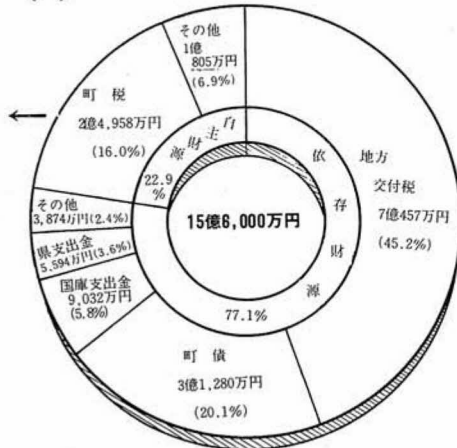
このような中で、今年度は地震被害を受けた役場庁舎改築を最大の事業として取り上げ、一方、健全財政を維持するために、支出の重点化と効率化を図り、経費の節約につとめました。

その結果、昭和五十四年度一般会計の予算規模は十五億六千万円で、昨年度と比べると二億三千九百万円の増率にして一八・一％の伸びとなりました。

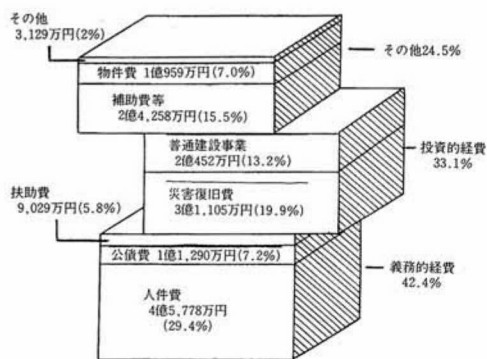
歳入



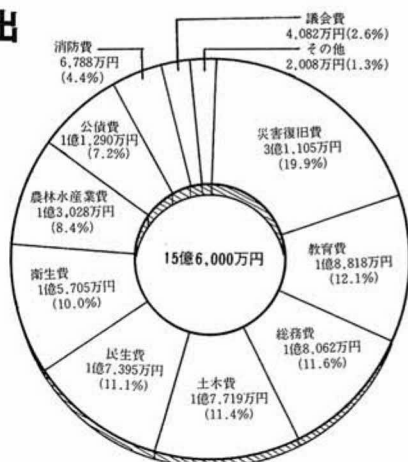
〈町税内訳〉



歳 出



〈性質別〉



〈目的別〉

民生費

この経費は、社会福祉事業の推進、老人福祉、心身障害者福祉、児童福祉、母子福祉、国民年金制度の普及と徹底など、町民の福祉と向上と充実をはかるためのものです。

○重度心身障害者医療補助	194万円
○民生委員調査委託料	118万円
○国民年金費	228万円
○老人家庭奉仕員の委託料	131万円
○老人福祉費	369万円
○養護老人ホーム組合負担金	184万円
○老人医療費	6,113万円
○季節保育所に要する経費	905万円
○乳児医療費扶助費	119万円
○児童福祉施設費	3,439万円
○児童措置費	2,189万円

商工費

○商工業の振興を推進するための商工会補助金	400万円
○商工中小企業の近代化、合理化促進のための預託金	800万円

総務費

この経費は、町が行う事務のうち、内部管理をはじめ、財産の維持管理、町勢振興のための企画調査など一般的事務に必要な経費です。

○総務管理費	1億2,442万円
○徴税费	3,479万円
○戸籍住民基台帳費	861万円
○選挙費	674万円
○統計調査費	224万円
○監査委員費	204万円

衛生費

この経費は保健医療体制の整備疾病予防対策、公衆衛生活動の推進、環境衛生の整備など保健衛生の向上のための経費です。

○循環器と成人病検診事業	582万円
○公立藤田病院組合負担金	6,527万円
○伊達三町火葬場協議会負担金	155万円
○結核検診事業	200万円
○各種予防対策事業	200万円
○環境衛生費	121万円
○伊達衛生処理組合負担金	4,116万円

福島県の農家は年々減少の傾向にあり、しかも兼業農家への移行が進んでいる。当町も同様の動きの中にある。しかし、昭和五十一年度の町の純生産総額九十三億円のうち農業純生産額は約十九億円で第一位にあり、農業は依然として当町の基幹産業であることに変わりはない。

正、準組合員併せて二〇四三名を擁する国見町農業協同組合は、当町農業の要として正に町内農家の拠りどころである。組合長菊地太三さんは、昭和四十年旧農協が合併し現国見町農協の発足と同時に

に代表監事に就任、以来農協の中核として活躍し昭和四十七年十一月から現職に就く。初代谷口亀之助さんから数えて四代目の最高責任者である。

猫の目農政ということばがある。終戦後から今日まで基本方針がないうまま猫の目のように変化する農政、この農政不在の状況をいいたことばである。特に米作農家は

このことを強く感じて来たに違いない。

国見町農業協同組合長 菊地太三さん

土木費

この経費は、道路や橋、河川の整備、維持補修、都市計画事業、公営住宅の管理にあられます。

○土木管理費	2,800万円
○道路維持費	841万円
○道路橋梁新設改良費	1億2,897万円
○住宅管理費	259万円

労働費

○労働者金融対策預託金	200万円
-------------	-------

農林水産業費

この経費は、農林業の経営安定と発展のためのものです。

○農業委員会に要する経費	313万円
○水田総合利用推進対策事業など調査経費	246万円
○水田利用再編対策推進費	505万円
○農業団体育成活動補助金	224万円
○へき地農山漁村振興特別補助金	675万円
○町単土地改良事業用地代	200万円
○伊達地区広域営農団地農道整備促進協議会負担金	1,552万円
○伊達西部土地改良負担金	1,408万円
○西根郷土地改良区助成金	153万円
○土地改良事業長期償還金助成金	883万円
○鳥取林道開設整備事業	1,900万円
○桑折町国見町有北山組合負担金	258万円

教育費

次代になう子ども達の健全育成のために、教育環境の整備をはかり、教育の振興につとめます。また、町民が健全な生活を営むための社会教育、保健体育振興の経費です。

○小学校管理経費	1,375万円
○小学校教育振興経費	735万円
○学校改築調査費	100万円
○大校小学校組合負担金	396万円
○中学校管理経費	653万円
○中学校教育振興経費	552万円
○幼稚園管理運営費	301万円
○婦人、青年団体等の育成奨励費、町民学校開設経費	147万円
○図書購入費	40万円
○公民館維持管理費	413万円
○伊達、桑折、国見町学校給食センター負担金	1,841万円
○町民スポーツに要する経費	232万円

消防費

○常備消防費	5,290万円
○非常備消防費	1,248万円
○消防施設費	250万円



にも目を向ける必要がある。生産者側も自ら対応すべき工夫が大切」と指摘。

最近、東京の米卸売業者や消費者と話し合う機会があったという。「米の余っている現在、消費者がうまい米を望むのは当然。その点福島産の米が人気になったのは残念。コシヒカリやササニシキはそれぞれ新潟、宮城のそれと相場が固定化している。これからは、質の悪い多収品種を抑え味のよい米の増産が必要」といふ。ちなみに食糧庁も農家から一律に一俵約一万七千円で買っているのを改め、「品質格差」を導入することによって「うまい米づくり」を促進しようという案を検討中とかである。

「今後の農業は、米を主としたものから畑作物を主とした方向に

転換が必要。当町は適地適作を考へ、りんご・もも・柿などの果樹と養蚕、ハウス園芸に力点を置いてゆく必要がある。そのためには現在進められているほ場整備と併せて果樹団地や畑の造成を行うべき」と米作中心農業からの転換策を示す。

昨年の当町の農業粗生産額は果実が米を抑えて第一位であり、農協の取扱高においても果実八億円、米五億円と従来の位置を逆転している。このような状況に対応して今年の農協職員は人事異動で果樹地帯の小坂、大木戸、森江野の各支所に果樹について営業指導にあたらせる職員を配置したという。将来を志向した指導体制づくりの表れで、菊地さんの積極的な姿勢が伺われる。

また、畜産振興について、「農業は土づくりが最も重要、その点一般農家と畜産農家の複合化をはかれば堆肥や汚物を土へ還元、土壌を豊かにできる」と。ただ、貿易自由化の中で影響が大きかったのは畜産農家だっただけに「技術指導よりもこれからは経営指導が大切」と考えながらも現在、農協がその指導まで手が回らないのが悩みのタネとか。

「国見は、将来も農業を中心に歩むべきだ。育苗センターやライスセンターの設置は農家の過大投資を避け協業化を進め効率的農業をはかるため。その余剰労働力は農村工業振興へ向けたい。商業の発展も農業の振興がなくては」と農業を基盤とした町の産業のあり方を説く。徳江河原の下水処理場建設の問題については「農業振興の点、優良農地が多大につぶれるのは全く残念」と顔を曇らせる。

組合員のための生活生産資材の共同購入、共同出荷、生産指導など農協本来の使命遂行とその諸経費を生み出す諸事業経営の確立に向け組合長菊地太三さんの経営手腕は益々期待される昨今である。

趣味は読書。(大正六年生れ)



(千円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較
国民健康保険	392,619	432,260	△39,641
貝田簡易水道	3,728	3,139	589
育英	2,904	2,457	447
入山財産区	746	3,115	△2,369
大木戸財産区	323	427	△104
藤田財産区	3,074	1,936	1,138
計	403,394	443,334	△39,940

特別会計

災害復旧費

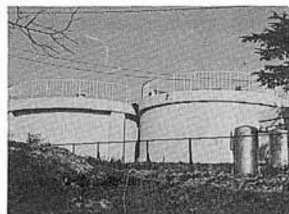
この経費は、昨年の宮城県沖地震で被害を受けた役場庁舎を改築するためのものです。

○庁舎建設費……………3億1,105万円

(千円)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	比 較
収益的	収入	65,484	56,802	8,682
	支出	64,309	55,462	8,847
資本的	収入	113,010	10	113,000
	支出	132,408	7,847	124,561

水道事業会計



貯水池



国見町公民館
電 2676
話 4156



3月の利用者

公民館 1,962人
体育館 4,009人

演劇で仲間づくり

アーツ・イン・クニミが誕生

わが町に、演劇活動を主体とする文化団体が一つ産声をあげました。その名は「ARTS IN KUNIMI」(アーツ・イン・クニミ)。これが生まれたきっかけとなったのは三月に行われた「青春祭」の演劇でした。「演劇をやりたい」という声が多くあがり、このまま解散するのは惜しい。そこで、大きな満足感とともに、このまま解散するのは惜しい。

屋号について思うこと

昔、私の家は農家であった。いりやがてつねに枯れ木を燃やして、家の中が煙でいっぱいになることもしばしばあった。その頃、祖父や父が部落の人達といろいろばあを議論をしていて、その話を聞いていたが、名前よりも屋号で呼んでいる方が多かった。

昔は知人や友人などを呼ぶ時は、たいいてい屋号で呼んだものだった。屋号で呼ぶと何かユーモラスで、会話が楽しく進む。「二文字屋がきのう酒を飲みすぎて今日は二日酔いだ」とか「中沢で田畑が何日頃になるそうぞ」というように、親戚が集まるとはり字名、屋号

を出す。二文字屋というのは素さんで、中沢は佐間さんである。ところが二文字屋はめつたり屋号呼びが少なくならしてしまつた。農家の寄り合いや田畑などの共同作業もなくなり、共通した話題をもち出す機会が減つたせいだろう。中年以上でなければ、屋号を言われてもたつとわからない。その家の若夫婦が会話を加わるときは「お前の友達、何君の家だよ」「隣町から嫁にきたよ、朝早くから野良仕事やら家事やら何でもする気立ての優しい人の家だよ」と解釈してやらなければならぬ。そのことを教えるのが面倒なときは、中年と老人の会話を聞かす。若夫婦はこの家のことを

の意を述べています。「ARTS IN KUNIMI」は「芸術一般を可能に追求し、芸術活動の向上を図る」ことが活動の内容ですが、まだまだ生まれたいと羽根善隆は抱負を語っています。一方、春日社会教育主事「町には三十近い文化団体があるが、青年が主体となつて活動している団体は他に無く、特に演劇は新しい分野であり、注目したい。町としても青年の文化活動を目指しているのを期待している」と歓迎

町公民館では、昭和五十四年度国見町青年学級生を募集しています。活動は毎週木曜午後七時半から九時半まで、町の勤労青年を対象としています。(おもな内容)野外活動(休日)に自然に親しみながらキャンプ、オリエンテーリング、ハイキングなど話し合い自分の考えを話したり他の意見を聞くことにより親睦と相互理解を深める

調議

政治、経済、社会の諸問題や人権などを学識経験者にきくスポーツ、レクリエーションエーションを楽しむフリータイム時間を最大限利用し、自分たちで企画・運営する※お申し込み、またはくわしいことを知りた方は公民館へ。なお、開校式は四月十九日に行われます。

(Y.S.記)

公民館図書室だより

図書の貸し出し方法が四月一日から変わりました。

今までは本の最後に入っているカードに氏名を書いて出していたのですが、今度からは利用者の皆様に登録していただき登録順に番号をお渡しして、その番号を貸し出しカードに書くようになります。

これは「読んだ本を人に知られたくない」という読書の自由を守ることと、管理上の利点を考えた結果改善されたものです。

登録は、公民館で作成した用紙に、住所、氏名を書くという簡単な方法ですので、利用者の皆様、よろしく願います。

●借りられる冊数は制限はありません。二週間以内で読める冊数を借りて下さい。

●読みたい本が見つからない時、図書室に予約カードをおきますので、本の題名と作者名を書いて受付に出して下さい。その本が貸出中のときはもどつてきたらお知らせします。図書室にない本でしたら、できるだけ皆様の意にそうよう努力したいと思います。

子どもの本展「不云



○日時 五月五日、六日

午前九時～午後四時

○場所 町公民館第一会議室

公民館では、お子様の発達段階に応じて良書を選び与え、健やかな成長の一助になればと、先の日程で子ども本の展示会を行います。

近年、幼児、児童用図書の出版が盛んになり、多種多様な本が数多く書店に並べられています。

これは大変喜ばしいことですが、親・ごさん達が実際に子どもに本を与える時、どの本を選んだらよいかと迷われることと思います。例えば昔から語りつがれてきた「桃太郎」にしても、内容が少しずつ変わった幾冊もの本があります。当日は係員が説明にあたり、直接質問などにご来ます。ぜひお手にとつてご覧になり、ご自分の目でその良否をたしかめて下さい。

さくらんぼ学級とは、公民館を中心とした若い夫婦の集まりです。

夫婦 なかよく

さくらんぼ学級生 その10



村上

恵 一さん(30)
子さん(29)

長女 由希ちゃん(五) 長男 晋一くん(二)
徳江三二階間々8

〔家族〕
夫婦、子供二人、父と母、祖母の七人家族

〔結婚したのは〕
昭和四十六年十一月。秋晴れの最高の日でした。二人の心(?)の様に……ハレバシ。何もうことなし。

〔うちのおとうさん〕
子ばんのうで思いやりのあるやさしいおとうさん。小さな体に大きなのぞみ……。まるで一寸法師(?)の様な人です。

〔うちのおかあさん〕
目はパツチリと色白(?)で……おとうちゃんにはスゴクやさしく、子供にはきびしいおかあさんです。

あつかし俳句会

昭和五十四年三月二十四日

* 阿武隈川蛇行し雲雀揚がるとこ 奥山 甲二
* 鳥交る西光山の真昼かな 熊田 一陽
* 通院の道すがらなる梅ふしむ 藤田 勝衛
* つくしんば独り遊びの一人ツ子 野村たかし
* ものの芽の魅となる熊柳 八巻 正雄
* 白き脛こぼれて春はおぼろかな 加藤 痴仏
* 幹半ば朽ちたる枯木梅咲きぬ

* 春立ちて美しき世は始まりぬ 佐久間山月
* 春彼岸鉦の音しきり念仏会 須田 泰山
* 雪解川耳底にひびく旅の夜 奥山 雨田
* 枯れ芝の御苑に紅し落椿 小野寺萬水
* 春曉や浅き夢さめ老佗し 阿部 亨司
* 春緑の見ゆる屋敷の梅の花 阿部しげ
* 春雨や湯の町情緒蛇の目傘 佐藤 国樞
* 沈丁花朝のしじまを充たし居り 羽賀 えい
* 彼岸桜うなだれ濡れて墓どころ 角田 昭子
* 自転車に揺られ売らるるさくら草 蕨沢 秋子
* 墓語でマツチも受けず彼岸西風 熊坂 きよ



4月 卯月(うづき)

18日・発明の日・切手趣味週間(～24日)

20日・通信記念日・郵便週間(～26日)

1日・第50回メーデー・日本赤十字社創立記念日

2日・八十八夜

3日・憲法記念日

5日・子どもの日

6日・立夏

8日・世界赤十字デー

10日・愛鳥週間始まり

ハンカチ チリ紙を玄関に新入園児や新一年生を毎朝送り出す家庭では、そのひとつは、戦争のような騒ぎでしょう。外へ向かって「ハンカチ、チリ紙は？」「アッ忘れた」ということも多いと思います。ゲタ箱やはき物入れの上などに小さく小引出しなどを置いて、ハンカチ、チリ紙、マスク、校章の予備などを常備していたらいいかでしょう。ハンカチはきちんとたたみ、チリ紙も必要量をすぐポケットに入れるようにたたんでおけば便利です。

「あとは、結果を待つばかりだ。」
ぶ台をおいてから、友だちは口ぐちに言った。みんなは、ホッとしているようだったが、わたしにとっては、歌っている時よりも結果を待つ時の方がとてもドキドキ

が短かいので、有効に使うように
わたしががっかりしたが、しかし合唱を通していくつかの曲ものが、せめてものなぐさめである。一つは、規則正しい生活習慣が身についたことだ。毎日朝早くから、夕方遅くまで何回も何十回も練習した。このため、朝早く起き夕方まで帰ってからなるまでの時間が短かいので、有効に使うように

「県代表には選ばれなかったけれど、よくがんばったね。この次もがんばろうね。」
先生の声は重くしずんでいた。帰りの汽車の中で、先生から買っていたアイスクリームは、がっかりしていたわたしにとつては、にがい味にも思われた。

ゆがのぼってきた。あとひととき、あと少し、と思つて歌い終えた。川上まであゆがのぼりきつたことを考え、ベストをつくして歌った。指揮者の手が止まった。最高の出来ばえだ。観客の拍手が聞こえてきた。
(ありがたう。暖かい拍手をありがたう。)

していた。



なつた。
二つめは、きびしさ、苦しさにならず、最後までやりぬく力が身についたことだ。特に夏休みは、三時間から四時間も立って練習した。暑いせいか少しはばて気味だったが、最後までよくがんばりぬいた。きびしい練習によくたえてきたと思つている。
三つ目は、練習の後、プールで泳げたことだ。昨年までは十メートルぐらいたったが、クロール、平泳ぎで五十メートルも泳げるようになったのだ。これも大きな収穫だ。
「県代表には選ばれなかったけれど、よくがんばったね。この次もがんばろうね。」
先生の声は重くしずんでいた。帰りの汽車の中で、先生から買っていたアイスクリームは、がっかりしていたわたしにとつては、にがい味にも思われた。

先生方の異動

() は旧任



退職

▽酒井富久子(藤田小)▽梶原好子(小坂小)▽岩淵淑一(奥北中)転出

▽梁川町立梁川小教頭(藤田小教頭)秋葉芳吉▽梁川町立白根小(藤田小)佐藤洋一▽福島市立茂庭小(藤田小)青木隆雄▽福島市立平野中(藤田小)佐藤恵子▽福島市立野田小教頭(小坂小教頭)樋口勉▽梁川町立梁川小(森江野小)佐藤トシエ▽福島県教育センター(大木戸小校長)深谷克美▽船引町立中山小校長(大木戸小教頭)菅野言夫▽保原町立大田小(大木戸小)氏家清道▽飯館村立飯館中

校長(奥北中教頭)斎藤益三▽福島市立信陵中(奥北中)渋谷宏之転入

転入

▽藤田小教頭(梁川町立栗野小教頭)佐藤昭雄▽藤田小(福島市立東湯野小)倉島重三▽藤田小(福島市立小)鈴木康平▽藤田小(福島市立大生小)遠藤トヨ子▽藤田小(新採用)五十嵐睦子▽藤田小事務(新採用)柳沼美喜子▽小坂小教頭(梁川町立白根小教頭)伊達文朗▽小坂小(藤田小)飯塚佳淑▽小坂小事務(新採用)佐藤玲子▽森江野小(伊達町立伊達小)佐久間イネ子▽大木戸小校長(浅川町立里白石小校長)橋本隆夫▽大木戸小教頭(相馬市立山上小教頭)三浦敬紀▽大木戸小(梁川町立梁川小)堀江通▽大木戸小(新採用)小川重子▽奥北中教頭(都路村立都路二中教頭)佐々木廣▽奥北中(保原町立保原中)斎藤敏子▽奥北中(福島市立信陵中)熊坂喜久次

心配ごと相談日

場所：役場宿直室

時間：9時～12時

こまつたことや心配ごとがあり
ましたらお気軽にご相談下さい。

秘密は絶対に守ります。

〔相談員〕

4月25日(水)菊地平助

黒田ヒ忠

5月4日(金)吉佐藤

吉田正雄

5月15日(火)吉田容子

5月25日(金)阿部俊恒

大和田与志江



藤田小学校の入学式



季節保育所開所式(小坂地区)

春風に心も躍る

小学校の入学式

入学おめでとうー。好天に恵まれた4日、町内5つの小学校で晴れの入学式が行われ、新1年生170人が誕生しました。

藤田小学校(写真)でも午前10時の入学式を前に、お父さんやお母さんの手にひかれた新入生が早々と登校。記念撮影のあと礼法室で式が行われました。

校長先生のお話やおまわりさんから事故にあわないよう注意のうけ、元気に1年生のスタートをきりました。

季節保育所はじまる

季節保育所でも5日、町内いっせいに入所式が行われました。

これは、農繁期を迎えて保育に欠ける子どもの安全をはかるため小坂、大木戸、森江野、西大枝で開設されています。

今年は211人の幼児が入所、160日間、保母さんと一緒に過ごします。

西堂橋が完成



町道内谷―西堂線の道路改良に伴い架橋工事中であった西堂橋が三月二十二日竣工しました。総工費は三千三百万円、幅員六・五メートル、長さ二五メートルの永久橋です。

この橋は、地形の点から橋の平面に勾配がついており、しかも入口と出口とは逆勾配でちょうど橋の真中を中心にして両端を逆にねじったような形をした珍しい橋です。この橋の完成によって内谷方面への通行が一段とスムーズになります。

企画課だより

●あなたの意見をお寄せ下さい

広報広聴係では、広報くにみをより充実をはかるとともに、みなさんの声を町政に反映させるためいろいろな意見や感想をお待ちしています。

町に対して望むこと、また、日頃気づいている点などどんな小さなことでも結構ですので、企画課までお寄せ下さい。

●表紙をイメージチェンジ

先月まで二年間、表紙に町内の各分野で働く若い女性を紹介して好評を博してきましたが、四月から装いも新たに「父・娘」という題で、さまざまな父と娘の素顔で表紙を飾っていくことと思っています。年齢、職業は問いません。ほのぼのとした温かい雰囲気をお求めています。

来月はあなたの家庭におじやまするかも知れません。その時はどうかご協力下さい。

●写真を差し上げます

毎月広報に使用している写真にあなたが写っていたら、企画課までご連絡下さい。その写真を差し上げます。

農業後継者の育成を

花嫁対策協議会

三月二十九日、農協会館において「農業後継者（花嫁）対策協議会」が開かれ、農業後継者に花嫁を世話した十人の仲人さんに、感謝状と記念品が贈られました。

この協議会は、魅力ある農業を実現するために農業構造改善を推し進めて、自営後継者とその配偶者を確保していくこととするもので昭和五十一年五月、農業委員会が中心となって発足しました。

農業をとりまく情勢はきびしく農業人口は減少し、サラリーマン化が進んでいます。農業を基幹産業とするのが町にとって、それは町の盛衰にかかわる大きな問題であり、どうしても農業後継者の育成とその配偶者対策に取り組む必要があります。

こうしたことから町の農業委員会では十名の対策委員を任命、さらに、地域の中から仲人として実績のある方二十名を選び「花嫁対策特別推進員」として委嘱しました。

今後も意見の交換会をもち、町内はもちろん町外からも、地元に着てくる花嫁がさらに、積極的に乗り出す考えです。

農作物を

凍霜害から守ろう

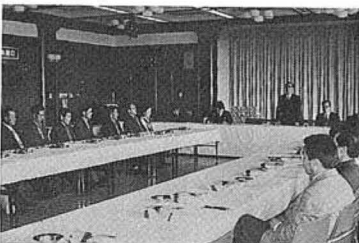
町の対策本部スタート

4月5日～5月31日
果樹や桑に被害をもたらす晩霜のシーズンを迎え、町では四月五日町長を本部長とする防霜対策本部を設置しました。

これによって六日から警戒態勢に入っており、凍霜害関連情報の連絡や伝達、防霜器材の整備など晩霜に対する構えを確立し、警戒を指示して行くことになりました。

これから霜の降りる恐れのある夜は、有線放送や広報車をフルに活用して警戒を呼びかけていきますので、十分注意して下さい。

特に今年は、暖冬などの気象により晩霜の心配が例年以上に高いと思われ、農家の皆さんと万全を期するよう協力をお願いします。



農業後継者（花嫁）対策協議会

善意の窓

あつかし山に さつきの苗



あつかし山にさつきの苗が植えられ、花の季節を待っています。

これは、山根部落の菊池久さん、遠藤喜市さん、菊池慶雄さん、齋藤英郎さんの四人が、あつかし山を美しくしようとする苗六十本を寄付、三月中旬展望台付近に植樹しました。

まもなく美しい花を咲かせ、訪れる人の目を楽しませてくれるでしょう。

○大津昭一さん

（森山字中ノ目31）
利一さんのご遺志
東北中学校へ 三万円
森江野小学校へ 三万円

○高橋芳男さん

（マルゼン履物店）
東北中学校へ名入のスリッパ百足
方部一同
小坂小学校へ校章旗二枚
（二万円相当）

○大波正美さん

（山崎字沢田八の九）
公民館図書室へ図書七十七冊を寄贈
○昭和三十四年第九回東北中学校卒業生一同（代表者佐美武比古さん）
同級会開催記念として町社会福祉協議会へ二万九千五百五十円。

感電事故に注意

このぼりは電線から十分はなれた場所へたてましょう。電線に巻きついたり、ポールが触れると危険です。



カッパル誕生

氏名 部落（前住所）

鈴木 光雄	大坂
鈴木 寛子	原町
古川 比司	大町南
大内 征子	福島市
佐藤 麗子	貝田
佐藤 麗子	泉田中
大槻 早苗	山根
樋口 正利	錦町
遠藤 和洋	光明寺
渋谷 光子	光明寺
吉川 次子	白石市
早田 耕之	小坂
渡邊恵津子	福島市
遠藤 幸子	貝田
菅野 利男	内谷東
佐藤由美子	桑折町
菊地 義正	第十二
伊藤由美子	福島市
黒田 健治	宮町南
大沼富士子	貝田
高橋 幸治	山崎北
斎藤 敏子	伊達町
吉田 次夫	駅前
八巻 光江	第七

お知らせ



発見・早期治療が大切。この機会にもれなくうけましよう。

五月七日(月) 五月八日(火)
場 所 国見町公民館(福祉センター)

料 金 千五百円

くわしいことは申し込み者に直接お知らせしますので、検診を希望される方は、保健課衛生係に申し込んで下さい。

公2111有4165

労働保険の年度更新

福島労働基準局
福島県商工労働部
昭和五十四年度の労働保険(労災保険、雇用保険)の年度更新をする時期がまいりました。

四月初めに、局または県から送付される申告書用紙と記入要領をよくお読みいただき、五月十五日までに自主申告、自主納付、もよりの金融機関、郵便局、労働基準監督署、福島労働基準局または雇用保険課にされますようお願いします。

また、期日までに申告のできるよう、貸金台帳などを整備しておかれるようお願いいたします。

あなたもうけましよう

成人病検診

次の日程で成人病検診が行われます。検診種目は、胃レントゲン間接撮影です。成人病は特に早期

技能検定試験の実施

昭和五十四年度前期の技能検定試験を次のとおり行います。

技能検定の等級
一級および二級
方法

実技試験および学科試験

受付期間

昭和54年5月1日(火) から5月11日(金) まで

実施職種

造園、鋳造など三十職種四十七作業

検定期日

実技試験—昭和54年6月29日

9月30日まで

学科試験—昭和54年9月9日、

合格発表

昭和54年10月16日

9月16日、9月23日

おめでとーございます

三月中に届けられた方(敬称略)

(父の氏名)	(子の氏名)	(部落)
佐藤 忠	文 勝	泉田上
加藤 勝美	菊 子	石母原上
加藤 升郎	美 香	大町南
長谷川勝助	裕 子	高 城
東海林忠雄	路 子	宮町南
佐藤 壽	宏 美	泉田上
國分 幹郎	有 子	錦 町
源 一修	司 中	部 部
三木 武次	雅 史	山崎館
岡田 盛雄	セイ子	貝 田
佐久間正幸	洋 之	板 橋
吉田 輝雄	賢 吾	源山北
古内 宣雄	宣 誠	源山北
佐藤 誠治	誠 勝	原 町
鈴木 和雄	梨 香	貝 田
佐藤長太郎	雅 嗣	北 部
斎藤 弘雄	美和子	貝 田
松浦 金蔵	芳 浩	宮 前
八巻 國光	容 子	第七
松浦 勝吉	順 子	石母原

合同習作展があります

・と き…五月五日〜六日

・ところ…国見町公民館

・展示物…日本画、書道、写真、刻字

犬の登録と予防注射

サービスデー



○ 4月29日午前9時〜11時
役場前で行います。
もれなく受けて下さい。

おくやみ申しあげます

三月中に届けられた方(敬称略)

(氏 名)	(年齢)	(部落)
小林 サト	84	原 町
松田 ツイ	78	貝 田
竹田 稔	23	大木戸
佐久間シン	81	第十二
高原 菊松	66	鳥 取
八島彌治郎	72	山崎北
阿部 昇	74	石母原
中野 キク	51	鶴 町
木野 豊美	67	徳江北
朽木ヨシミ	75	前 田
鈴木 モト	65	板 橋
佐久間スイ	43	宮 東
斎藤 カン	84	第三

編集日記

○春らんまん、一斉に花が咲きほこつている。花といえは、やはり桜。数ある花の中で、昔から日本人は桜を愛し、いつくしんできた。それは絢爛(けんらん)たる美しさの中に「無常」や「哀れ」を見その散り際のよさが日本人の心情に合っているからだといわれている。さて理屈はともかく、まずはお花見といこう。

○広報紙の編集を手がけて六年目に入ったところ。当時の小学一年生はもう六年生なのだから、その歳月の重さや考えや愕然(がくぜん)とする。曲がりなりにも続けてこられたのは、内外のいろいろな方の協力と援助のおかげと感謝している。担当者としても、貴重な血税を費やしている広報紙なので、一字一句たりともゆめおろそかにしてはと肝に銘じている。しかし、記事がない、記事が書けない、その時のつらさよ、出るのはたま息ばかり。広報の締切日に合わせて胃の痛みも定期的なやつてくる。(エツ、何/花見で飲み過ぎたのだから?ムム)

今月の納税

国民健康保険税第一期